



愛郷無限

2013年10月15日号 NO.419

写真提供:大田市

土屋館
どや
だて 通信

発行者:大曲・花火通り商店街
文責:辻

お問い合わせ:080-1265-7035
tuck-t@akita-tsujiya.jp

Subject: ディスティネーションキャンペーン

既報の通り、10月頭から始まったディスティネーションキャンペーン(通称DC、ディスティネーションとは“目的地”という意味)。10月5日の「大曲駅まつり」は沢山のお客様にお越しいただき、JR秋田支社も驚くほどの大盛況ぶりでありました。慣れないイベント事、しかもSLの試運転を同日に抱えながら、主体として頑張っていた駅長はじめ大曲駅の皆さん、設営と運営を支えた商店街、会議所青年部、大仙市役所、観光物産協会の皆さん、本当にお疲れさまでした。初めてのことを実施するのは本当に大変なことです。駅舎屋上での演出花火など今までにない意欲的な企画からお客様から来年も継続を望む声を多くいただきました。有り難いことです。

◆【駅ナカこまち横丁】

10月4日からささやかに始まっております【駅ナカこまち横丁】。大曲駅の東西連絡橋に【木造の立ち呑み屋台】風の販売ブースと飲食コーナーを設置。DC期間中に増加する観光や出張の皆さまが、大仙市の地酒・秋田県産ワイン・自信を持ってお勧めする旨めもの&土産品を気軽に愉しんでもらえるようアンテナショップとして開設しました。10月から12月までの毎週・金土日(月曜祝日の場合は月曜まで)の11時~20時営業。運営はみなボランティア。先ずはこの2週間の週末を営業致しましたが、お陰様で観光客、鉄道マニア、さらに地元の方々に大好評をいただいております。

私たちの目的は「物売り」だけではなく、期間中に増える観光・ビジネス客の皆さまに、見せかけだけでない、伝統ある【大曲の本当の旨もの】を気軽に試してもらえる場を作ること。そして彼らと愉しく会話できる場を作ることです。

DC推進委員会に属する大曲駅、商工会議所青年部、大曲納豆汁旨め研、社交飲食業連合会、花火通り商店街、酒造組合仙北支部、秋田県ワイン協議会、大仙市、観光物産協会が力を合わせて運営しています。注目を集め大曲がリードする秋田県産ワイン、地酒をグラス売りで愉しんでもらえるほか、気軽に注文できるサイドメニューとして大曲納豆汁、川ガニ味噌、嶋田ハム・ブレーマ、山菜キノコの煮付け、玉川鮭の生ハム、餅せんべいハチミツサンド等々、県外の方々が「エッ」と思い、食べて「オッ」と納得するラインナップ。この2週間、お客様の反応を見てその選択の間違いの無さを実感。

今までの大曲に無かった提供&PR方法を、しかもJR大曲駅の改札前で展開しています。地元の方々にもぜひ遊びに来て欲しい。【地元には都会の人達も喜ぶこんな旨いものがある】ことを知り、その価値を再評価して欲しいと思います。

県外客が増えるこのDC期間中に、地元人自身が、自分たちが普段食していて価値を見いだしていない良いものを再発見したいなと思います(外の人に認められないと重い腰が上がりません秋田県人ですからね)。